

法人（事業所）理念		子ども達の未来の可能性への橋渡しをするためにたゆまぬ努力をし続ける。			
支援方針		子どもたちが日常生活や社会生活に必要なスキルを身につけ、自立した生活を送るための基盤を育む。日々の活動やイベントを通じて、楽しく成長できる環境を提供する。			ガイドライン P10 児童福祉法
営業時間		送迎実施の有無		あり	
具体的な支援内容					
本人支援	健康・生活	身辺処理への自立に向け、食事・衛生管理の習慣化、持ち物の管理や整理整頓の練習などを障害に配慮しながら支援する。また社会生活に向けて公共の場でのマナー（トイレの使い方、待つ練習など）の支援をする。			ガイドライン P19
	運動・感覚	遊びや室内活動を通じた基本的な運動能力向上（ジャンプ、バランス、ストレッチ）に加え、集団での活動でボール遊びやリズム運動を活用した協調運動、感覚統合活動（触覚・視覚・聴覚などを使った遊び）を行う。感覚の偏りに対しては環境の調整を行う。			ガイドライン P20
	認知・行動	学習習慣と自己管理能力の向上を目指し、宿題支援と机上課題提供、ルールの理解と守る力を養う活動を行う。計画・振り返りを踏まえた目標設定を通して子どもの自己選択、自己決定につなげる支援を行う。			ガイドライン P21
	言語・コミュニケーション	表現力と聞く力の向上を目指し、挨拶や会話のキャッチボール練習で相手の目を見て話す習慣づけを行う。また質疑応答のトレーニングで絵カードを用いた非言語コミュニケーションの強化を行う。グループディスカッションを通して他者の意見を聞き、適切に応答する力を育む。			ガイドライン P22
	人間関係・社会性	協調性・感情コントロールの向上を目指し、ルールのある遊びを通じた協調性向上、他者の気持ちを理解するワーク（表情カード・感情表現ゲームなど）を行う。友達との関わりを深めるためゲーム形式などで楽しめる環境設定を行う。また博物館見学やお買い物体験など、社会との関係構築を行う。			ガイドライン P23
家族支援	相談を行える保護者会や子育てに関する情報提供を実施	ガイドライン P30	移行支援	次のステップへの準備を支援（進学・就学サポート）	ガイドライン P32
地域支援・地域連携	地域イベントへの参加や交流機会の提供、地域関係者、関係機関との連携して支援を行う。	ガイドライン P32.40	職員の質の向上	職員の知識や技術向上のための研修や勉強会の実施。	ガイドライン P57
主な行事等		季節ごとのイベント（ハロウィン、クリスマス会など）に加え、調理（昼食、おやつ）、外出（博物館、公共交通機関利用）、学習イベント（科学実験）、就労体験			